

研修会報告

照明、エコキュートの研修会に参加して
8月26日松下電工ショールーム内会議室 参加13名
飯沼 あい子

☆照明について

室内全体を均一に明るく照らす時代から、目的に合わせて照明を切り替えるという照明計画が可能になった。が実感でした。

特に今回は寝室の照明計画について詳しく説明がありました。

上から室内を照らす明かり、ベッドサイドの明かり、ベッドの足元の明かりの組み合わせ

更には壁の絵画等への間接照明、それらをリモコンで調整しながら、くつろぎ休む。

今どれくらいのクライアントが、そこまでの演出を必要とするのか。それとも近い将来は普通になるのか・・・と考える資料の写真を見ながら別世界を見つめていました。

☆エコキュートについて

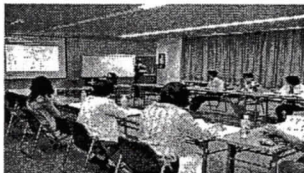
昼食後は現実に引き戻された如く実践的な話題で始まりました。テレビのキャッチコピー「電気でお湯を沸かす」ですが、本当のところ今更聞けない、どうやって沸かすの？

正解は「大気熱を自然冷媒(CO2)に集め、その熱でお湯を沸かします」です。

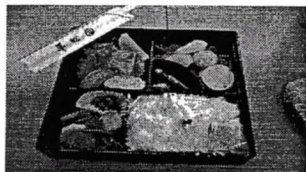
①大気中の熱を自然冷媒CO2に集め ②熱を吸収した自然冷媒を圧縮して、更に高温にする ③自然冷媒の熱を水と熱交換。ヒーターレスで最高90℃の湯を沸き上げる ④熱を奪われた自然冷媒は再び熱を集める これの繰り返しで作られた熱は給湯熱交換器を通して給水された水を温めて湯にする。これが原理だそうです。

現在はオール電化と組み合わせ、地球へのやさしさと時間帯別電灯契約、補助金、ローン金利優遇等経済性をアピールしています。

地球規模の温暖化によりさまざまな異変が報道される昨今、身につまされた実感はないのでつつい疎かになりがちですが、身の回りから真剣に取り組まねばならない時代が来ている事を実感しました。



研修風景 みんな真剣です！



定番の昼食写真です

第49回建築士会全国大会

「栃木大会」報告

49回建築士会全国大会栃木大会に参加して

津川 文江

テーマ『下野で語る建築士と地域との共創』

～建築士たちの“もの・まち・くらしづくり”の実践

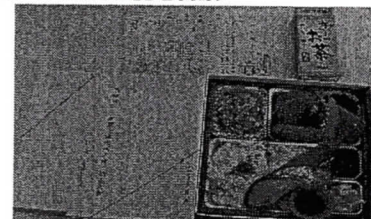
平成18年10月19日～21日に 栃木県宇都宮市にて 47都道府県7ブロックによる全国大会が行われた。私達は20日より参加した。栃木県は、大化の改新以降「下野の国」と呼ばれ 世界遺産となった近世の日光 近代を支えた旧帝国ホテルを飾った石材(大谷産地)であり その素材を利用した石蔵建築が数多くあるそう。また 宇都宮市は 餃子の町とも呼ばれ、日本で一番餃子を食べる町だそうです。

前回まで、屋台村という名前で情報交換をしていたが、今回より情報パークとして1.5坪の展示ブースが40ヶ所あり全国地域実践活動の最前線を聞いたり見たりすることができた。また、6つのセッションがあり、私達は女性委員会のセッションで「安全・安心な住環境」のブースで情報交換をした。恒例のクイズ「知ってるつもり」も参加して難問に挑戦した。

翌日21日は 地域交流見学会で 世界遺産・日光の社寺コースで 近世・近代建築めぐりに参加し、東照宮・三代将軍家光公を祀る輪王寺大猷院(たいゆういん) 治の館(石造りのレストラン)にて食事 日光開山の祖勝道上人が渡ったと言われる神橋 大正天皇の旧日光田母沢御用邸の見学と保存改修についての講演会を聞いた 日光東照宮しか知らなかったので見学会に参加して日光を知る事ができ とてもよかった。



ゲートの前で土本会長と記念撮影



定番大会のお弁当品書き付です

第49回 建築士会全国大会 栃木大会
地域交流会Dコースに参加して

下川 滝美

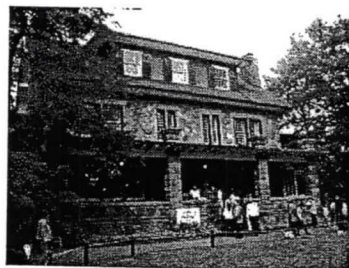
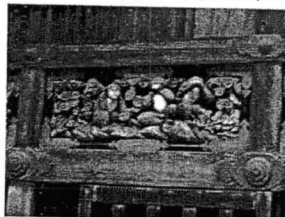
朝 8 時宇都宮を出発。紅葉のシーズンで車も多く 20 分ほど遅れて日光に到着しました。

車中では地元の建築士さんから見学コースの説明があり、わきあいあいとした雰囲気スタートでした。見学は三代將軍家光公を祀る輪王寺大猷院から始まりました。日光の「みのもんた」と言われるガイドの方の説明で始終楽しく見学をしました。先祖である家康公の廟所(東照宮)をしのいではならないという家光公の遺命によって、彩色や彫刻は、控え目に造られましたが、かえってそれが重厚で落ち着いた雰囲気を醸し出しています。7 年前に世界遺産の登録を受けたということです。入り口の「仁王門」にはじまり、家光公墓所の入り口に当たる「皇嘉門」(こうかもん)まで、意匠の異なる大小6つの門で、境内が立体的に仕切られており、門をくぐるたびに景色が転換して、あたかも天上界に昇っていくような印象を受けます。三途の川から彼の世を現すのだそうです。次に日光東照宮へと移動をしました。丁度塗り替えの作業中でした。有名な「三猿」のいわれや 12 の猿の額が人の一生をあらわしているのだと説明を受けました。

一日中見ているにあきないことから「日暮らし門」とも呼ばれる国宝の陽明門。何を見ても先代の職人の技術に感動するばかりでした。

昼食は「明治の館」という石造りのレストランで頂きました。

稲荷川の日光石を用い壁面全面を他に極めて例の少ない「乱れ石積み」の純石造建築とし長い年月をかけて建てられた建物だ



といいます。当時の別荘から昭和 52 年に西洋料理の館として利用されることになった建物です。

次に世界文化遺産となっている「二荒山神橋」を見学しました。

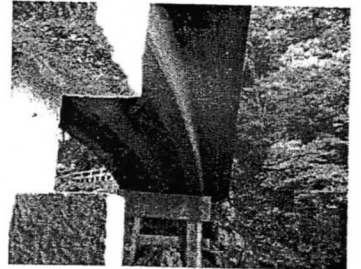
神橋は木製の橋で石の橋脚に支えられ、全体が漆塗りりで高欄や飾り金具がついている全国でも珍しい橋です。ちょうど仮設観覧台より下部構造を見学できる特別期間でありとても雄大な下部構造を見学することができました。

次に見学したのは旧日光田母沢御用邸です。1 時間程保存改修に携った方達から講義を受けました。廃屋のようになっていた時代があったそうですが見事によみがえり匠の技術を知ることができました。

これも和の美しさ日本の伝統の奥深さを感じました。

今回の見学ツアーはどれも匠の技と共に日本の建物の美しさを感じる見学でした。

もう一度ゆっくりと時間をかけて観て見たい。あっという間の一日でした。



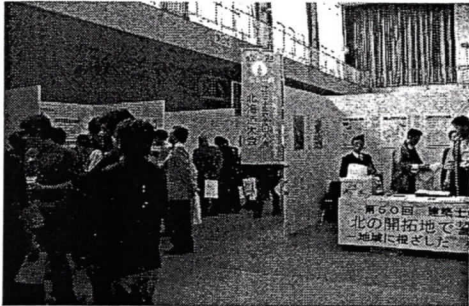
全国栃木県大会に参加して

長瀬 八州余

☆「情報パーク」について

前回まで「屋台村」としておこなわれていた情報発信ブースが今回から名称が変わり「情報パーク」となりました。名称が変わっただけで、内容は今までと変わらないように思われました。会場は明保野体育館に設置されており、前回の愛知県大会より少ない 38 ブースが展開されていました。

北海道建築士会女性委員会の出展では、郵送しておいた冊子が届かず困ってみえ、このようなアクシデントも起こるのだなあと思いました。



会場の様子

☆「クイズ知ってるつもり」について

「情報パーク」の会場の中に情報ステージが作られており、そこで「女性委員会」主催の「クイズ知ってるつもり」が開催されていました。

クイズの設問は、関東ブロック各県の女性委員会と「情報パーク」に出展している女性委員会から20問が用意されていました。

参加自由で、イエス・ノーで答えて正しい人が残っていくゲーム形式で行われ、正解し続けその人数が4人から7人位になったところで、記念品の進呈があり、また全員で起立して始めます。なかなか正解を続けることは難しく、私は最後まで残ることができませんでした。しかし岐阜県青年委員の方も数名参加され、複数回記念品を受け取っていました。

知っている人には簡単でも、知らない人には全くわからない問題やら、聞いたことがあるけれどもどちらだったか知ららといった問題やら、仲間と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。



クイズ知ってるつもりで全問正解して商品をゲット!



セッションEに参加して

小林 教子

10月20日、女性委員会主催のセッションE「安心・安全な住環境」に参加しました。

栃木の県内産の建築素材のパネル・実物展示がされた会場を見せていただき、女性委員の方々にお話を聞かせてもらいました。そのうちの印象に残った話を紹介します。

麻の生産量の9割は栃木で生産しているそうです。和紙や内装材としていろいろと利用されている麻ですが、麻殻が屋根材として活用されているのは以外でした。

大谷石は有名ですが、大谷石で造られた蔵は積石造ですが鉄筋は使用されていないそうです。宇都宮あたりは地盤が良いので震度5では今のところ影響がないそうですが、震度6になったらどうかしら?という話でした。

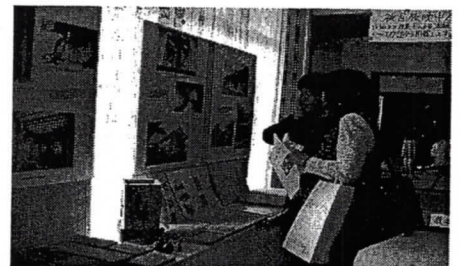
和紙はどこでも作られている素材です。ここに展示してあった照明は作家のオリジナルデザインだという話ですがとても素敵でした。普通、照明に和紙を利用したものは和紙を張って照明の中に入れたりする物が多いのですが、和紙を線状に加工して組んでいき、形を作っています。写真を見てその雰囲気よさを少しでもわかっていただくと良いのですが...

「とちぎの建築素材」という冊子を女性委員会で作っておられましたのでもらってきました。その表紙にも和紙の照明の写真や麻殻の屋根の写真が載っています。事務局においておきますので機会があったら見てください。

展示会場の隣の和室では耐震住宅相談や新潟中越地震の記録放映・討論会も予定されていましたが、残念ながら時間の関係で見ることはできず、次の会場へ移りました。



和紙の照明



担当者に根掘り葉掘り聞きました

❖ 気楽にらくだ会報告

下川 滝美

12月2日土曜日 未来会館小会議室にて「住まいのしつらえを考える」と題して気楽にらくだ会を開きました。なかなか人数が集まらず委員長も大変でした。建築士会の女性の方にも来ていただいて和やかな雰囲気の中、講師の平田悦子先生のお話からはじまりました。リースを飾るにも壁との色や材質の調和が大切だというお話や設えに関するこだわりを先生の作品や写真をみながらの説明をして頂きました。

目の前に材料が揃っており皆うずうずしながらお話を聞いていました。

講義の後リースの作り方から始まりました。色の違う枝を土台に差込みながら針金でとめる作業は皆真剣そのものでした。リースの形ができるといよいよ飾りつけです。飾る場所をイメージしながら思い思いに木の実やオーナメントを差し込みリボンで飾りつけをしました。写真のように様々なリースが出来上がりました。同じ素材でもリボンの色や材質で雰囲気かわるものです。

それぞれ家に持ち帰りまたアレンジをして飾っていることと思います。

リースを作り飾る事で家の雰囲気をも変えてしまうことを再確認しました。

「住まいのしつらえ」について楽しく学んだ会でした。



皆 座って作業ができないくらい熱がはっています



できた作品を手に記念撮影です



女性委員全員集合

女性委員全員集合

津川 文江

趣味 茶華道・パッチワーク
一言 いろんなものに広く浅く手
を出し身体がついていけなくて後
で後悔します。

長瀬 八州余

趣味 パン・お菓子作り
一言 恵那の山奥から岐阜まで
出てきて、楽しく活動をしていま
す。

下川 滝美

一言 事務を開設して10年
たちました。また5年頑張って
みようかと思っています。

飯沼 あい子

趣味 水泳・フラワーアレンジメント
ボランティア 絵本の読み聞かせ
一言 無理をしないで細く長くが元気の
秘訣(自戒をこめて)

西村 憲恵

一言 岐阜支部
三興建設(株)勤務

河合 加奈子

一言 岐阜支部
大河建設(株)勤務

大上 さおり

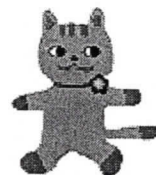
趣味 舞台鑑賞・ジェットスキー
一言 現在は2人の悪ガキの母
で妊婦。モットーは育児は 育自。
日々勉強の毎日です。

宇佐美 泉

趣味 花作り・手紙を書くこと
一言 我が家は柿生産農家
でもあるので、秋の収穫期には
にわか農家になります。

清水 久砂子

一言 岐阜支部
アーキスタジオ
casamia 主宰



堀 暁美

趣味 旅行

一言 いろいろな所へ出かけ建築物や町並みを見るのが楽しみです。最近によく京都へ行きます。

河内 美代子

一言 ゴルフとショッピングしている時が一番楽しい私です。ただし両方とも実力伴っていないところが微妙かな(^_^)

松村 久美子

趣味 音楽鑑賞・茶道

一言 夢は世界一周、えっ小さい!?!では宇宙旅行!!

栗山 真由美

趣味 旅行

一言 最近韓国にはまっています。食べ物やドラマ、映画等……

若井 美香

趣味 ドライブ・ショッピング(見るだけ)

一言 今年、一番ウキウキしたことは、福山雅治のコンサートチケットが手に入ったこと。まだ、日にちがありますが、さらにウキウキ度が上昇中です。

榎本 佳子

一言 西濃支部
Y&M設計室主宰

小林 教子

一言 40の手習いではじめてテニスも10年を超えました。ストレス発散に最適です。

吉村 節子

趣味 スイリ小説を読むこと 一言
ネコが大好きです。今は、3匹の家ネコと4匹の外ネコの世話が楽しいです。

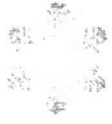
高野 栄子

一言 西濃支部
コーエイ設計室主催

長尾 則子

一言 各務原支部
ナガオホーム勤務

❖ ほっとコーヒーブレイク



らくだ17号で掲載することができなかった全建女の報告です。編集委員のミスで掲載が遅れたことをお詫びするとともにここに改めて掲載いたします。

C 分科会 健康住宅

愛知県コメンテーターの健康住宅の発表の内容は 住む人が健康で過ごせる環境とは、①**身体**の健康：適度な運動・規則正しい生活・バランスのよい食事等

②**心**の健康：豊かな感性・柔軟で強い精神・日常生活を楽しむ・会話を楽しみ大いに笑う等

③**住まい**の健康：光と風が流れよどみが無い・自然素材で調湿性能がある・アレルギーを引き起こさない・耐震、耐風、耐雨で耐久性がある造りである等

①～③の3つのバランスが不可欠だそうです。

1日のリズムにあった生活動線で、健康を自然に導くようなプランづくりをするように

心掛けています。たとえば、朝の活力を生む東南の光をキッチン・ダイニングに取り込むようにしているそうです。利便性を追及する事の代償として、人の機能を退化させてしまうのできかけを作って身体を動かす。その為、あえて寝室は2階へ。片付けやすく収納しやすい空間を作り、部屋の中は いつもすっきりと片付いていて気持ちがいい環境をつくるようにしているそうです。

心の健康として、季節感や生活を楽しむ場をしつらえ、心の充実を図る。建物の断熱性や調湿性など基本性能をもうらして住む上での生理的ストレスをなくし、住む人が健康で過ごせる環境をつくる。又、人も建物も健康で長生き出来る事が大切であるので 守る事や排除する事だけでなく、順応性・適度な免疫性・治癒力・感性を育てる場所造りをするように心掛けています。建物の耐久性はもちろんのこと、環境や生活の変化に対応できる建物を考えるべきではないかという発表でした。

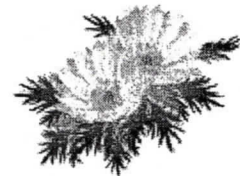
また、次のような意見交換がありました。

バリアフリーが浸透しているが、はたしてそれがいいのかわるか？バリアフリーは人の機能や運動を低下させているのでは、バリアフリーが必要なのは、車椅子を使用する人だと思ふ。高齢になるからといってバリアフリーにするというのはどうかと思ふ。

運動機能を低下させないためにもバリアフリーでない方がよいのではないか、という意見があった。

又、安価なコストでは、健康住宅になりえないのではないか。納得のいく健康住宅にする為には、当然コストは高くなってしまふと言う事を、ユーザーに納得してもらわなければならない。質のいいもの、手間のかかっているものは、それだけの価値があるということ。また、健康住宅として建物を引渡し後、室内に入ってきた家具等により、シックハウスの症状が出るがあるので、気をつけなければならない。

そして、建物も生き物なので、ユーザー自身も住むことにもっと愛着をもち、傷む前に手入れをするように心がけてほしいとのことだった。



❖ 編集後記

明けましておめでとうございます。第3号をお届けします。編集の怠慢で出すタイミングが悪く、年を越してしまいましたので、相も変わらず盛りだくさんの内容です。女性委員全員集合いかがでしたか。意外な素顔がのぞけたような気がします。次号は皆様からの投稿をぜひお待ちしております。特に「ほっと・コーヒーブレイク」のコーナーは、お役立ち情報、新築建物紹介をはじめ検証報告何でもOKです。

なお、編集参加問い合わせ、ご意見・投稿・新企画などがございましたら、下記へお寄せください。

編集委員

(社)岐阜県建築士会

岐阜市司町1番地 岐阜総合庁舎3階

TEL 058-266-5786 FAX 058-266-6867

<http://homepage2.nifty.com/aba-gifu/>

Eメールアドレス kensi578@juno.ocn.ne.jp

※ 女性委員会担当まで宜しくお願い致します

